

1.(二重の和差算)

「2つの数のペア」と「残りの1つの数」の差が示される問題では、まず「ペア」と「残り」の和差算を解き、次に「ペア」の2つの数の和差算を解きます。

- (1) 合計が50である三つの数A,B,Cがあります。AはBとCの和より4大きく、CはBより3小さい時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

A= , B= , C=

- (2) 合計が73である三つの数X,Y,Zがあります。XはYとZの和より7大きく、YはZより3大きい時、X,Y,Zはそれぞれいくつですか？

X= , Y= , Z=

2.(疑似和差算)

3数の合計が書いていない問題では、和と差が分かっている 2つをまず和差算で求めてから残りを求めます。

- (1) 三つの数X,Y,Zがあります。ZとXの和は25で、YはXより2小さく、ZはXより5小さいです。X,Y,Zはそれぞれいくつですか？

X= , Y= , Z=

- (1) 三つの数A,B,Cがある。AとCの和は32、BとCの和は29、CはAより6小さい時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

A= , B= , C=

3.(和和和算)

差が示されていない問題では ①和の条件式を合計したものを2で割って3つの数の合計を出し ②和の条件式2つずつを比べて差を求め ③あとは3つの数の和差算を解きます。

三つの数A,B,Cがあります。AとBの和が28、BとCの和が34、AとCの和が38である時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

A= , B= , C=

1.(二重の和差算)

「2つの数のペア」と「残りの1つの数」の差が示される問題では、まず「ペア」と「残り」の和差算を解き、次に「ペア」の2つの数の和差算を解きます。

- (1) 合計が50である三つの数A,B,Cがあります。AはBとCの和より4大きく、CはBより3小さい時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

はじめにAとB+Cの和差算と考えてAを求めると、
Aは「大」なので $(50+4)\div 2=27$ 、B+Cは $(50-4)\div 2=23$
次にBとCの和差算と考えて、B(大)は $(23+3)\div 2=13$
C(小)は $(23-3)\div 2=10$ と分かる。

$$A= 27 , B= 13 , C= 10$$

- (2) 合計が73である三つの数X,Y,Zがあります。XはYとZの和より7大きく、YはZより3大きい時、X,Y,Zはそれぞれいくつですか？

はじめにXとY+Zの和差算と考えてXを求めると、
Xは「大」なので $(73+7)\div 2=40$ 、Y+Zは $(73-7)\div 2=33$
次にYとZの和差算と考えて、Y(大)は $(33+3)\div 2=18$
Z(小)は $(33-3)\div 2=15$ と分かる。

$$X= 40 , Y= 18 , Z= 15$$

2.(疑似和差算)

3数の合計が書いていない問題では、和と差が分かっている 2つをまず和差算で求めてから残りを求めます。

- (1) 三つの数X,Y,Zがあります。ZとXの和は25で、YはXより2小さく、ZはXより5小さいです。X,Y,Zはそれぞれいくつですか？

和と差が分かっているのはXとZなので、はじめにXとZの和差算を解くと
 $X(大)=(25+5)\div 2=15$ 、 $Z(小)=(25-5)\div 2=10$ と分かる。残ったYはXより2小さいので $15-2=13$

$$X= 15 , Y= 13 , Z= 10$$

- (1) 三つの数A,B,Cがある。AとCの和は32、BとCの和は29、CはAより6小さい時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

和と差が分かっているのはAとCなので、はじめにAとCの和差算を解くと
 $A(大)=(32+6)\div 2=19$ 、 $C(小)=(32-6)\div 2=13$ と分かる。残ったBはCとの和が29だから $29-13=16$

$$A= 19 , B= 16 , C= 13$$

3.(和和和算)

差が示されていない問題では ①和の条件式を合計したものを2で割って3つの数の合計を出し ②和の条件式2つずつを比べて差を求め ③あとは3つの数の和差算を解きます。

三つの数A,B,Cがあります。AとBの和が28、BとCの和が34、AとCの和が38である時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

和の式三つを合計すると $28+34+38=100$ になり、 $(A+B)+(B+C)+(A+C)=(A+B+C)\times 2$ なので、三数の和 $(A+B+C)=100\div 2=50$ である。
次に差の式「 $A+B=28$ 」と「 $B+C=34$ 」を比べるとAはCより6小さいと分かる。同様に「 $B+C=34$ 」と「 $A+C=38$ 」からAはBより4大きく「 $A+B=28$ 」と「 $A+C=38$ 」からBはCより10小さくと分かる。
あとは、三数の和差算として解くと、一番小さいBと他の二数との差が10,4なので、 $B(小)=(50-10-4)\div 3=12$ 、 $A(中)=12+4=16$ 、 $C(大)=12+10=22$

$$A= 16 , B= 12 , C= 22$$